



No. 1, 31. May, 2018

創刊号！ミャンマーのコメ生産農家へ品質保証された種子を届ける目的で、2017年10月23日から5年6か月間の予定で、農業畜産灌漑省をカウンターパート機関として開始した技術協力プロジェクトの活動がようやく軌道に乗ってきました。そこで、皆様にミャンマーの稲作とプロジェクトの取り組みを理解し、応援して頂こうとフォトレターを創刊しました。今回は昨年10月のプロジェクトの立上げから現在までの活動を紹介します。



プロジェクト立上げのためのインセプション会議を2017年11月22日に首都ネピドーの農業畜産灌漑省:MOALIで開催しました。



2017年11月～18年2月まで、MOALIの種子生産への取り組み、プロジェクト対象地域の現状等を把握するため、イェン農業大学と共同でベースライン調査を実施しました。



品質保証された種子(Certified Seed:CS)の生産と流通を拡大するために、ミャンマー米連盟:MRFと官民連携の推進について11月から数次に亘って協議しました。



2月27日、首都ネピドーで圃場審査・生産物審査改善に向けたワークショップを実施。種子検査室、郡の種子担当職員らが課題や改善策について熱心に協議しました。



品質保証された種子:CSの利点を精米業者、農家に理解してもらうため、1月17日にエイヤワディー地域ヒンタタ県でCSで生産されたコメを地元精米所の協力を得て精米デモを行いました。



CSの経済的利益を理解し、CS及びコメ生産農家、精米業者全員が利益を得られるように、CSバリューチェーン構築を目的に、エイヤワディー地域、シュエボー郡でステークホルダー会議を開催しました。



Myaungmya郡Wakema県の乾期CS生産農家の圃場にて県普及事務所の普及員と圃場審査の実施状況および異株(異品種)混入の実態調査を行うとともに、普及員の技術指導を実施しました(3月28日)。調査対象圃場は普及員の指導により品質管理が行き届いていましたが、いくつかの課題も残されており、今後のCS生産活動を方向付ける有意義な調査でした。普及員の皆さん、今後も長いお付き合いになりますが、どうぞ宜しくお願いします。



近日中にHPを開設します。今後もフォトレターやHP等を通じて活動を紹介していきますので、どうぞお楽しみに！(編集委)